

気候情報

2018年2月の日本の天候

- 全国的に、気温が低かった
- 日本海側では、北陸地方を中心に記録的な大雪となった所があった
- 東日本太平洋側は、降水量がかなり少なかった

2月の天気概況

しばしば冬の気圧配置が強まり、日本海側では上旬後半と中旬前半を中心に、発達した雪雲が日本海から盛んに流れ込んで記録的な大雪となった所があった。一方、東日本太平洋側は冬の気圧配置の日や高気圧に覆われる日が多く、低気圧や前線の影響を受けることが少なかった。

上旬：1～2日は日本の南を低気圧が東北東進し、西日本の山沿いを中心にまとまった雪が降ったほか、関東甲信地方では広い範囲で積雪となった。その後は冬の気圧配置が強まり、東日本以西を中心に強い寒気に覆われた。東・西日本日本海側では大雪となり、発達した雪雲が日本海から集中的に流れ込んだ北陸地方は、多い所で平年比6倍超の積雪を観測する記録的な大雪となった。

旬平均気温は、西日本と沖縄・奄美でかなり低く、東日本で低かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と東日本日本海側ではかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側では少なかった。東日本太平洋側と西日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。北・東日本太平洋側と西日本では平年並だった。

中旬：旬のはじめは冬の気圧配置が強く、全国的に顕著な低温となった。日本海側は発達した雪雲が日本海から断続的に流れ込んで広い範囲で大雪となった。その後は、北日本と東日本日本海側は気圧の谷や寒気の影響を受けることが多く、暴風雪や大雪となった所があった。一方、東日本太平洋側と西日本および沖縄・奄美は気圧の谷の影響が弱く、晴れの日が多かった。

旬平均気温は、北・西日本で低かった。東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なく、西日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なかった。一方、東日本太平洋側でかなり多く、西日本と沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

下旬：北～西日本は低気圧と高気圧が交互に通過して数日の周期で天気に変化し、日本海側はこの時期と

しては晴れの日が多かった。東日本太平洋側は低気圧の影響を受けることがほとんどなかった。北日本は強い寒気に覆われて気温の低い日が多く、暴風雪や大雪となった所があった。沖縄・奄美は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、北日本では低く、東・西日本と沖縄・奄美は平年並だった。

旬降水量は、東日本太平洋側ではかなり少なく、北日本太平洋側と東・西日本日本海側で少なかった。北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本と東日本日本海側が多く、東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

2月の気候統計

月平均気温：全国的に低かった。

月降水量：東日本太平洋側でかなり少なく、西日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本と東日本日本海側、西日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：北日本太平洋側と東・西日本で多かった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

2月の記録（1位更新のみ）

・月降水量少ない方から (mm)

三島 11.0 彦根 31.0 など4地点

・月間日照時間多い方から (h)

山形 134.6 仙台 195.2 石巻 203.6

2018年2月の平年差(比)図

